
東 京 経 済 大 学

地域連携センター

TKU Center for Regional Collaboration

2018年度 年次報告書

C o n t e n t s

はじめに

地域連携センター 2018 年度年次報告書の発行にあたって・・・2

I. 地域連携センター・・・3

1. 事務体制

2. 事業報告

(1) 行事一覧

(2) 事業計画

(3) 地域連携センター利用状況

(4) 情報発信

(5) 地域連携センター運営委員会開催状況

(6) 地域連携センターイベント

II. 地域連携・・・25

1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会

2. 国分寺周辺地域活動費助成事業

3. 学生の社会貢献活動に対する助成事業

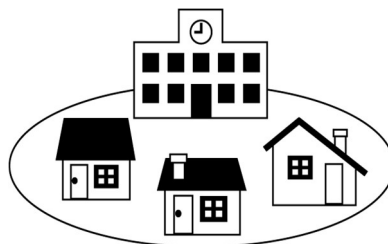
III. 産学連携・・・38

1. 多摩信用金庫

2. 西武信用金庫

IV. 学生の社会貢献活動・・・45

V. 国分寺市の主な行事・・・59



地域連携センター 2018 年度年次報告書の発行にあたって

東京経済大学地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration :CRC）は、本学の社会貢献および産官学の連携の窓口として、またそれらを促進していくための機関として設置されました。2015 年度に本学 1 号館 2 階に専用オフィスを開設し、2015 年 11 月より専任職員および臨時職員による常駐体制を維持しています。また、当センターの運営を審議する機関として地域連携センター運営委員会が設置されています。

本学は長年にわたり、生涯学習等において地域社会への貢献を続けて参りましたが、2004 年 10 月にはそうした方針をより明確にし、地域課題の解決をめざす研究や学生の地域参加を一層促進するため、国分寺市および国分寺市商工会の三者で相互に協力・連携する協定（東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会）を締結しています。同協定に基づいて、これまでまちづくりにかかわる共同研究やシンポジウムなどの開催、ゼミやサークル単位での地域活性化等をめざした地域貢献活動、「地域インターンシップ」や「学生の地域貢献」というユニークな授業運営などに取り組んできた経緯があります。

そのような長年にわたる地元の商工業者・行政との連携事業を通じて多くを学ばせていただいて大学としてその重要性をあらためて認識し、学内の正式な一部署として「地域連携センター」が発足したということになります。当センターが学外との連携窓口として常設されたことで、社会からのニーズや産業界からの連携事業のご提案等も日常的に寄せられるようになり、センターの活動の幅はその種類においても、そのフィールドにおいても確実に拡大しています。センターが多摩地域全体、さらにはグローバルな視野の下に、社会と大学つなぐハブとして機能してきていることを実感します。

そうした学外から寄せられるニーズと学内のステークホルダー（学生、教員、ゼミ、部・サークル等）をつないでいく常駐職員のインテークの役割は、ますます重要になっています。2017 年度からはあらたに特命講師を迎え、その体制を強化しています。

「アカデミズムに裏打ちされた実学教育」を基本コンセプトに掲げる本学にとって、地域社会および産官学の連携を通じて<机上での学び>を<実践>に活かしていくこと、またそれを学内にフィードバックしていくことの重要性は論を待ちません。センターが果たすべき役割は一層大きくなることでしょう。

末筆ながら、こうした活動を通じて、学生に“活きた”現場での学びの機会を提供してくださった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。当センターとしても社会と大学をしっかりとつないでいくパイプ役として、一層努力して参りたいと存じます。これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2019 年 3 月

地域連携センター運営委員長
尾崎 寛直（経済学部准教授）

I. 地域連携センター

1. 事務体制

地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration）は2015年11月から窓口業務をスタートしました。常駐職員2名体制で、外部機関等及び本学教職員・学生からの情報収集ならびに双方への情報発信、シンポジウム・フォーラム・研究会などの準備・運営、本学教職員・学生の地域貢献・交流活動への支援を行います。1号館2階にあり、本学教職員・学生が学外関係者とのミーティングなどに使用することもできます。

窓口時間：原則として、土・日・祝日を除く授業実施期間中の9:00～17:00

U R L : <http://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

①管理業務

- ・オフィスの鍵・物品・資料等の管理
- ・予算管理、伝票処理
- ・文書管理
- ・文房具など消耗品の調達
- ・オフィスのゴミの処理

②委員会等事務

- ・地域連携センター運営委員会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
- ・国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
- ・その他、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会に係る委員会

③外部機関との連携窓口

- ・国分寺市役所（市政戦略室など）
- ・国分寺市商工会
- ・多摩信用金庫
- ・西武信用金庫
- ・他大学の地域貢献・地域連携担当部署
- ・その他、地域連携関連の機関及び個人

④学内での窓口業務

- ・教員への連絡・案内
- ・地域における活動をするゼミ生への連絡・案内
- ・学務課、キャリアセンター、学生課、広報課、国際交流課など他部署との連携・調整
- ・事務局会議等への報告

⑤事務作業

- ・学内外のイベント運営（シンポジウム、フォーラムなど）
- ・掲示物、看板等の作成・管理
- ・ホームページの作成・管理
- ・東京オリンピック・パラリンピック大学連携協定

【センター入口】



地域のイベント情報、ボランティア情報を発信しています。また皆様からの地域の情報もお待ちしております。
お気軽にお越しください

【室内スペース大】



地域連携に関するミーティング、打合せ・各種作業等で使用可能です。予約優先です。

【室内スペース小】



地域連携に関する書籍、冊子などを揃え、貸出ししています。

地域連携センター使用に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、東京経済大学地域連携センター規程第2条に基づき、地域連携及び産学連携を目的とした地域連携センター（以下「センター」という。）の使用に関し、必要な事項を定める。

(管理)

第2条 センターの管理は、地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

(使用範囲)

第3条 センターの設備等の使用範囲は、次の各号のとおりとする。

- (1) 作業・ミーティング用テーブル
- (2) 打合せブース
- (3) 書庫（資料等保管用）
- (4) 物品収納スペース
- (5) 備付けの文房具

(使用資格)

第4条 センターの使用資格は、次の各号の者とする。

- (1) 本学の教職員
- (2) 本学の学生
- (3) 本学が許可した者

(使用日時)

第5条 センターの使用は、原則として土・日・祝日を除く授業実施期間中の午前9時から午後5時までとする。そのほかの日時での使用に関しては、必要に応じて個別に対応する。

(使用手続)

第6条 センターの設備等を使用する際は、センター窓口で申請の上、許可を得るものとする。

2 第3条第1号及び第2号について、複数のグループから同日・同時間帯での使用申請があった場合は、申請順に使用を認める。10名以上で使用する場合には、あらかじめ日時・人数・目的等を申し出て予約することができる。

(使用心得)

第7条 センターの使用に当たって、使用者は次の各号を遵守しなければならない。

- (1) 室内での飲食・喫煙禁止
- (2) 室内での騒音及び携帯電話・スマートフォン通話禁止
- (3) 機器・備品・物品等の室外持ち出し禁止
- (4) 第1条に規定する目的以外の使用禁止
- (5) その他公序良俗に反する行為の禁止
- (6) 整理整頓に心がけ、使用した機器・備品・物品等は元の状態・場所に戻すこと
- (7) 室内を清潔に保ち、使用後は清掃を行うこと
- (8) 教職員の指示に従うこと

2 使用者は、前項に規定する義務を怠り、故意又は重大な過失により設備・備品等に損害を生じさせた場合は、その損害を弁償しなければならない。

(使用禁止)

第8条 次の各号に該当する者には、センターの使用を禁止し、使用中でも使用を中止させることがある。

- (1) センターの秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼす行為をした者
- (2) 教職員の指示に従わない者

(賠償義務)

第9条 使用者の責に帰すべき事由により設備等に損害を与えた場合は、本学が損害額を認定し使用者が負担するものとする。ただし、本学がやむを得ないと認めた場合はこの限りでない。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、地域連携センター運営委員会及び大学運営会議の議を経て学長が行う。

付 則

この規程は、2015年（平成27年）11月26日から施行する。

2. 事業報告

(1) 行事一覧

①委員会等

2018. 4. 27	第 23 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
2018. 5. 10	第 1 回 地域連携センター運営委員会
2018. 5. 21	第 17 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
2018. 6. 7	第 2 回 地域連携センター運営委員会
2018. 11. 7	第 3 回 地域連携センター運営委員会
2019. 3. 7	第 4 回 地域連携センター運営委員会
2019. 3. 22	第 26 回 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

②シンポジウム、イベント等

2018. 4. 4	国分寺市立 cocobunji プラザオープニングイベント「こくスマ！」 「市民向け講座」開催
2018. 4. 22	第 12 回こくぶんじ市民活動フェスティバル参加
2018. 5. 19-20	ファーマーズフェスタ参加
2018. 6. 27	知的財産を活用したビジネス創出（大学連携）キックオフ会
2018. 6. 28	第 1 回 CRC カフェ（ボランティアサークル Clovre による活動報告）
2018. 7. 2	第 2 回 CRC カフェ（100 マス計算バトル）
2018. 7. 7-9	第 3 回 CRC カフェ（ボランティア講座）
2018. 9. 8	Bunji Gloval Forum&Fasta 参加
2018. 8. 27	知財活用ビジネス創出 第 1 回ブラッシュアップ会
2018. 9. 17	敬老の日イベント CELEO 寄席
2018. 11. 15	知財活用ビジネス創出 第 2 回ブラッシュアップ会
2018. 10. 16	第 4 回 CRC カフェ（箱の中身はなんじゃろな）
2018. 12. 11	中小企業講演会
2018. 11. 15	知財活用したビジネス創出 第 2 回ブラッシュアップ会
2018. 12. 18	こらぼ de サロン
2018. 12. 18	第 6 回東京経済大学・多摩信用金庫共同シンポジウム
2019. 1. 2	CELEO 新春寄席

(2) 事業計画

1. 2017 年度の事業総括概要

東京経済大学地域連携センター（TKU-CRC。以下、センター）は、2016 年より専任職員 1 名、臨時職員 1 名の体制が整い、学外諸機関と学生・教職員との調整役として、学外から寄せられる各種の連携・学生派遣の要請を学内のゼミや学生団体・サークル、学生・教職員一般へ適切につないでいくインテーク業務を日常的に行えるようになった。また逆に、ボランティア参加や企業・社会との連携事業を希望する学生の相談を受け付け、適切な外部の機関とのマッチングを行う業務も増えてきている。

2017 年度からは、地域連携業務を担う特命教員を採用できたことにより、これらの対応機能の幅が広がり強化された。特命教員にはインテーク業務等の特命業務のほか、従来からの「学生の地域貢献」「地域インターンシップ」等、さらに特別授業として「実社会における問題解決力を鍛える」「商業活性化と地域再生」をあらたに開講していただいたことで、学生の地域参加の機会が格段に増えたことは大きな前進である。

センターが推進してきた事業としては、2016 年度には東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会（以下、地域連携推進協議会）とセンターが主催した地域連携フォーラムを 4 年ぶりに開催できたほか、地域金融機関との共同シンポジウムの開催や技術アイデアコンテストへの参加、国分寺市内の各種お祭り・イベントの開催協力（学生派遣、物品貸出、企画協力等）、などがある。

学内においては、CRC café（昼講座）を 4 回開催し、ボランティアやクラウドファンディング等のテーマで講師を招いて気軽に地域の活動に触れられる機会を設けてきた。毎回一定数の学生の参加が得られ、定着してきたといえる。

センターの広報活動としては、本学ホームページ上のセンター専用サイトの充実がはかられ、地域活性化・産学連携等の活動の成果が一覧できる状況になり、先行していた他大学の開示情報と比較しても遜色ないレベルになりつつある。また、昨年来続けてきた模造紙大の活動紹介パネルの掲示（センター前の学生ラウンジ脇、センター内）も定着してきており、本学の学生地域参加を学内外にアピールする重要なツールになっている。さらに、こうした活動の実績をふまえ、地域連携センター紹介パンフレットのリニューアルを行った。

以上のように、センターの本格的な業務開始 2 年目の 2017 年度は、昨年来の地道な活動の定着とセンターの対応機能の拡大が実現した一年であったと評価できる。

2. 2018 年度事業計画案

前年度の実績をふまえ、2018 年度の事業計画の柱としては、①学生の地域参加の拡大、②産学連携の促進、③研究・活動成果の社会への還元・公表、④センターの自主的な活動の強化、が挙げられる。事業の具体的な内容は以下の通りである。

①学生の地域参加の拡大

学生の地域参加（社会参加）は、大学としての社会貢献の意義のみならず、学生にとって

学内では得がたい実践的な学びの場を提供することにもなり、現代的教育ニーズに応える試みといえる。その意味でも地域参加の学生数を増やしていく必要がある。前年度に参加の機会が拡大したとはいえ、実際に足を踏み出しているのはゼミ全体でいえば少数であり、一部の学生団体に留まっている。その改善のためにもインテーク業務および相談業務を強化していく。併せて教職員および学生の地域活動を促進するための助成費についても、より充実を図るとともに、効果的かつ機動的な予算のあり方を模索する。

②産学連携の促進

企業・団体の抱えるニーズを大学側の研究シーズとして取り込み、課題解決に貢献することは教育研究両面から重要なテーマであり、その機会を一層増やしていくことが求められる。従来から連携している地域金融機関の提供する技術アイデアコンテストへの参加の他にも、個別のゼミ単位で地域企業・業界とマッチングし、コラボレーションしていく機会を増やしていく。

こうした取り組みは国際化の観点からも重要になる。国際的な進出を進める地域企業との連携はもとより、在日外国人・外国人観光客の増加によるインバウンド効果を取り込むための企業戦略に学生が何らかのかたちで関われる機会を開拓する必要がある。この点では、2018年度より外資系企業の代表取締役を本学客員教授（経済学部）に迎えることから、促進が期待される。

③研究・活動成果の社会への還元・公表

共同研究や協働事業の成果を報告するシンポジウムの開催を目指す。またセンター主催のシンポジウムについては年間2回程度行っていく。

なお、開催したシンポジウム等を報告資料として残していくことがこれまで十分ではなかった。今後関連予算（テーブル起こし代等）も確保し、活動・成果報告を掲載できる媒体（『(仮)地域連携センター研究双書』のような雑誌形式でも個別形式でもよい）を発行できるよう検討したい。

④センターの自主的な活動の強化

特命教員の就任により CRC café（昼講座）が定例化できるようになってきたが、実際ミニ講演を行う場合にもこれまでこうした費目の予算はなく、外部からのゲストに謝礼も出せなかった。昼講座に限らず、こうしたイベント開催は今後も増えてくることが予想されるため、大きなシンポジウムに限らず、講師費用などを出せるような費目を追加していく。

⑤広報体制その他

これまで成果を上げてきているホームページ、学内グループウェア、活動紹介パネルによる広報活動は引き続き強化し、学生の地域参加の機会拡大をめざす。活動の蓄積をふまえ、地域発展に関する補助金獲得も検討する。

(3) 地域連携センター利用状況（2018年4月～2019年3月）

【窓口運営体制】

地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

常勤の専任職員1名、臨時職員1名合計2名による対応。

開設時間：原則として授業実施期間中の月曜日～金曜日の9:00～17:00

使用資格：本学学生・本学教職員・本学が許可した地域関係者

【センター利用者】

本学学生：ゼミ（演習等）所属学生

「学生と地域貢献」授業履修生

サークル活動（落語研究会、ボランティアサークル Clover 他）

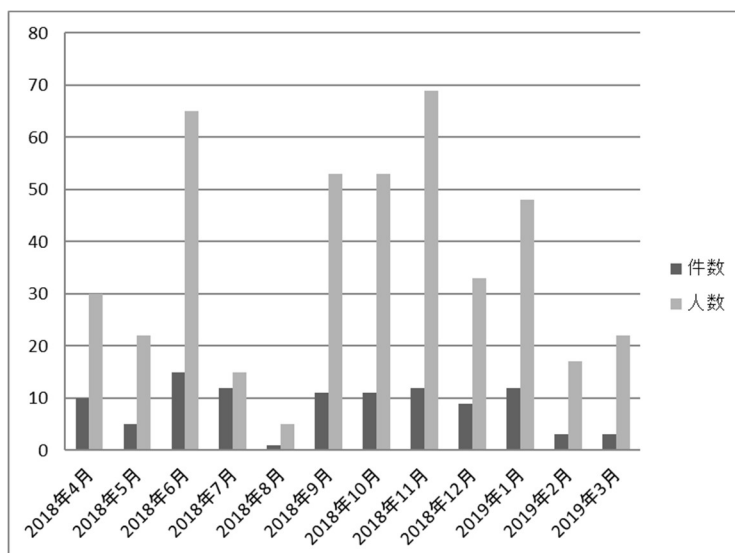
地域活動有志グループ（こくスマ！実行委員会、わらしべ長者プロジェクト）

ボランティア活動生（夏ボラ、他）

本学教職員：尾崎寛直先生、山本聡先生、長谷川倫子先生、小木紀親先生、鈴木恒雄先生、加藤みどり先生、藤井博先生、青木亮先生、西下彰俊先生、小林健一先生

地域関係者：国分寺市、国分寺青年会議所、国分寺市商工会、武蔵村山市、東村山市、立川市、福生市、多摩信用金庫、西武信用金庫、CELEO 国分寺、国分寺市社会福祉協議会、ボランティア活動センターこくぶんじ、こくぶんじ市民活動センター、JA 東京むさし農業協同組合等

【利用件数および人数】



(4) 情報発信

①TKU ポータル（学生向け）、サイボウズ掲示板（教職員向け）を利用した情報発信

年月日	カテゴリー	表題
2018. 4. 20	その他	こくスマ！開催報告と不要品回収ご協力の御礼
2018. 5. 10	地域情報	国分寺市ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座のお知らせ
2018. 5. 10	オリンピック	Tokyo2020 学園祭 2nd 参加募集のご案内
2018. 5. 14	その他	【募集】学生の社会貢献活動に対する助成金制度
2018. 5. 18	地域情報	【国分寺地域情報】新緑祭り 情熱！ファーマーズフェスタ
2018. 6. 13	オリンピック	Tokyo2020 大会 大会ボランティア募集要項について
2018. 6. 14	オリンピック	Tokyo2020 学園祭 2nd 開催のお知らせ
2018. 6. 15	その他	【募集】知的財産を活用したビジネスの創出への取組み（大学連携）について
2018. 6. 20	その他	東経大名物パンニーズ調査協力依頼（経済学部鈴木恒雄特別ゼミ活動）
2018. 6. 20	その他	地域連携センターお昼休み講座 第1回 CRCcafe 開催のお知らせ（Clover によるボランティア活動報告）
2018. 6. 26	地域情報	経営学部山本聡ゼミ食育班イベントのご案内（多摩地域の食材で作ったジャムの試食など）
2018. 6. 26	その他	地域連携センターお昼休み講座 第2回 CRCcafe 開催のお知らせ（わらしべ長者プロジェクトによる100マス計算バトル）
2018. 7. 2	地域情報	第1回国分寺お店大賞投票のお願い
2018. 7. 2	その他	地域連携センターお昼休み講座 第3回 CRCcafe 開催のお知らせ（夏季ボランティア講座）
2018. 7. 9	オリンピック	東京 2020 オリンピック・パラリンピックボランティア募集説明会のお知らせ
2018. 7. 19	地域情報	ボランティア講座&説明会開催のお知らせ
2018. 7. 27	地域情報	経営学部山本聡ゼミ食育班イベントのご案内（野菜や果物を使ったオリジナルかき氷作り）
2018. 7. 17	その他	地域連携センター夏季休暇期間スケジュール
2018. 7. 26	地域情報	国分寺市観光大使「木田優夫」ユニフォーム展示会
2018. 8. 28	地域情報	Bunji Global Forum&Festa2018 開催のお知らせとボランティア募集
2018. 9. 12	地域連携	落語研究会による CELEO 寄席開催（敬老の日向け）
2018. 9. 20	オリンピック	東京 2020 ボランティア、都市ボランティア募集開始について
2018. 9. 26	その他	第7回市民のための契約法講座のご案内
2018. 10. 2	その他	地域連携センターお昼休み講座 第3回 CRCcafe 開催のお知らせ（わらしべ長者プロジェクトによる箱の中身はなんじゃろな）

2018.10.9	地域情報	【協力依頼】 葵祭フリーマーケット不要品回収のご協力
2018.10.10	オリンピック	東京 2020Let' s55 with 青山スポーツフェス開催のご案内
2018.10.11	地域情報	男女平等推進センター情報誌「ライツこくぶんじ」編集委員募集
2018.10.30	オリンピック	都市ボランティア東京都への推薦者の募集について
2018.11.2	その他	税を考える週間記念講演会のご案内
2018.11.7	その他	第6回東京経済大学・多摩信用金庫 地域活性化シンポジウムのお知らせ
2018.11.9	地域情報	山本聡ゼミ食育班イベント「ホットケーキミックスで野菜を食べよう！」のご案内
2018.11.9	地域情報	青木亮ゼミ展示会「東元町まちづくりプラン」のお知らせ
2018.11.15	地域情報	第12回多摩六都ヤングライブフェスティバル出演募集のお知らせ
2018.11.19	地域連携	西下彰俊ゼミによる Paix2 トークショーのご案内
2018.11.26	地域情報	こらぼ de サロン 大学生と創る地域の力 vol3 開催のお知らせ
2018.11.28	地域情報	山本聡ゼミ食育班イベント「ひがしやまとで野菜にふれよう！」のご案内
2018.12.1	地域情報	小木ゼミシンポジウム新しいまちおこしの息吹「国分寺物語」のすべてのご案内
2018.12.1	その他	中小企業講演会開催のお知らせ
2018.12.3	その他	鈴木恒雄特別ゼミ「東経大名物パン」アンケート協力依頼
2018.12.12	その他	尾崎ゼミコラボスイーツデモ販売のお知らせ
2019.1.15	その他	知財活用スチューデントアワードで山本聡ゼミが最優秀賞を獲得

②ホームページ掲載情報

2018.4.20	学生の地域における活動	「こくスマ！」開催 東京経済大学の学生がオープニングイベントを企画
2018.4.20	地域活性化に向けた活動	国分寺市立 cocobunji プラザ開館イベントで市民向け講座を開催
2018.5.21	地域活性化に向けた活動	【予告 6/6(水)】「21世紀の多摩学」第1回研究会の開催
2018.5.21	地域活性化に向けた活動	【5/13開催】八王子学生サミットに鈴木恒雄ゼミ生が参加
2018.5.24	学生の地域における活動	尾崎ゼミが障がい者団体とコラボスイーツを販売
2018.5.28	学生の地域における活動	【開催報告】情熱！ファーマーズフェスタ
2018.6.18	学生の地域における活動	【6/14実施】尾崎ゼミコラボ販売実践活動
2018.6.21	地域活性化に向けた活動	「21世紀の多摩学」第1回研究会の開催報告
2018.6.22	その他	【6/28開催】地域連携センターお昼休み講座 第1回 CRCcafe
2018.6.26	その他	【7/2開催】地域連携センターお昼休み講座 第2回 CRCcafe
2018.6.26	学生の地域における活動	【7/6開催】山本聡ゼミナール食育班イベント開催のご案内
2018.7.2	その他	第1回 CRCcafe 開催報告

2018. 7. 3	その他	【7/7・10開催】地域連携センターお昼休み講座 CRCcafeのお知らせ
2018. 7. 5	その他	第2回 CRCcafe 開催報告
2018. 7. 10	産業界との連携	山本聡ゼミが出演！知財活用スチューデントアワード 2018 キックオフ会開催
2018. 7. 10	その他	第3回 CRCcafe 夏ボラ説明会開催報告
2018. 7. 18	その他	【予告 8/1(水)】「21世紀の多摩学」第2回研究会の開催
2018. 7. 23	学生の地域における活動	山本聡ゼミ食育班が多摩地域で採れた食材を使用したジャム試食会を実施
2018. 7. 25	学生の地域における活動	【8/7開催】山本聡ゼミナール食育イベントのご案内
2018. 9. 3	学生の地域における活動	車いすテニスの体験会に協力
2018. 9. 3	学生の地域における活動	国分寺野外シネマフェスティバル 2018 のボランティア活動報告
2018. 9. 6	その他	JR 中央線広告「ゼミする東経大」更新 9月は鈴木恒雄特命講座
2018. 9. 20	学生の地域における活動	Bunji Gloval Forum&Festa2018 参加報告
2018. 9. 21	地域活性化に向けた活動	国分寺地域活性イベント「ぶんじバル」参加報告
2018. 9. 26	その他	【予告 10/3 水】「21世紀の多摩学」
2018. 9. 27	学生の地域における活動	「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2018」選考会に本学学生 3 チームが出演
2018. 10. 1	学生の地域における活動	落語研究会 敬老の日イベント CRLEO 寄席開催報告
2018. 10. 12	その他	【10/16開催予告】地域連携センターお昼休み講座第4回 CRCcafe 開催
2018. 10. 12.	学生の地域における活動	立川南口ワンダーランド参加報告
2018. 10. 17	学生の地域における活動	鈴木恒雄特別ゼミが「こくめし」第一弾を企画！
2018. 10. 29	産業界との連携	【12/18開催予告】東京経済大学・多摩信用金庫地域活性化シンポジウム「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」
2018. 11. 5	学生の地域における活動	ぶんじハロウィン 2018 参加報告
2018. 11. 7	産業界との連携	第1回国分寺お店大賞 ～キラリ個性ピカリ個店 2018 活動報告
2018. 11. 9	学生の地域における活動	【開催予告 11/7】「茶～ミング」東京狭山茶の魅力を東大和から発信にて山本ゼミが研究発表
2018. 11. 9	学生の地域における活動	【11/18開催予告】山本聡ゼミナール食育班イベント
2018. 11. 22	学生の地域における活動	山本聡ゼミ生が地域でイベントを開催～ホットケーキミックスで野菜を食べよう！～
2018. 11. 25	学生の地域における活動	国分寺南栄商店会防災炊き出しボランティア活動報告
2018. 11. 26	学生の地域における活動	【12/13開催予告】音楽デュオ paix×2 (ペペ) に学ぶボランティア精神とボランティア講座
2018. 11. 26	その他	【開催予告 12/5】第4回「21世紀の多摩学」多摩地域の人口構造と住宅事情

2018. 11. 29	学生の地域における活動	【12/2 開催予告】山本聡ゼミナール食育班 ひがしやまとで野菜にふれよう！
2018. 11. 30	学生の地域における活動	鈴木恒雄特別ゼミ、尾崎寛直ゼミが学内の芝生でパンのワゴン販売を開催
2018. 11. 30	学生の地域における活動	ぶんぶんウォーク 2018 活動報告
2018. 12. 5	産業界との連携	経営学部山本聡ゼミが3年連続「知財活用スチューデントアワード」に進出
2018. 12. 13	学生の地域における活動	【12月16日開催】「こくベジのじかんクリスマスマルシェ 2018」国分寺の旬の野菜と音楽などで温かなひと時を
2019. 1. 7	産業界との連携	経営学部山本准教授の企画により、東京経済大学・多摩信用金庫共催 地域活性化シンポジウム「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」開催
2019. 1. 8	学生の地域における活動	こらぼ de サロン「大学生と創る地域の力 vol3」
2019. 1. 9	学生の地域における活動	こくベジのじかんクリスマスマルシェ 2018 参加報告
2019. 2. 6	学生の地域における活動	ボランティアサークル Clover と国分寺消防署が災害時支援ボランティアの協定を締結
2019. 2. 10	学生の地域における活動	大地の力コンペ2019で経営学部山本聡ゼミが未来創造賞を受賞

③展示パネルでの情報発信

地域連携センター入口掲示板および地域連携センター内において、学生の活動の様子を中心にパネルにまとめて展示しました。



(5) 地域連携センター運営委員会開催状況

会議	開催日時・場所	協議内容等
第1回	平成30年 5月10日(水) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】 平成30年度 地域産業応援資金（西武信用金庫）の支出基準について</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2018年度事業計画について ● 2018年度「国分寺周辺地域活動費助成」の募集について ● 2018年度「学生の社会貢献活動に対する助成金制度」の募集について ● 国分寺市立 cocobunji プラザ開館記念イベント(4/4)報告 ● 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会開催について ● 地域連携センターパンフレットについて ● 2017年度地域連携センター年次報告書について ● 各委員報告
第2回	平成30年 6月7日(木) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特命講師の再任について ● 「国分寺周辺地域活動費」助成の選考について ● 「学生の社会貢献活動に対する助成金」の選考について ● 2018年度自己点検・評価について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 西武信用金庫との連携について ● 小金井市との連携について ● 鈴木恒雄ゼミの学内アンケートおよび販促活動実施について ● 地域連携センター主催昼休み講座 CR Ccafeについて ● 各委員報告 ● その他 創立120周年記念事業 第1回研究会開催報告
第3回	平成30年 11月7日(水) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2019年度予算要求（案）について ● 2018年度自己点検・評価について ● 全学共通教育センター教授会の設置に伴う委員会構成の検討について ● 地域産業応援資金（西武信用金庫寄付金）の用途について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多摩信用金庫との共同シンポジウムについて ● 学生の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関するボランティア活動等への取組方針について ● 西武信用金庫との連携（知的財産を活用したビジネス創出）について ● 各委員からの報告
第4回	平成31年 3月7日(木) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2019年度事業計画について ● 2018年度地域産業応援資金(西武信用金庫)の用途について ● その他 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2018年度 国分寺周辺地域活動について ● 2018年度 学生の社会貢献活動について ● 2019年度予算について ● 2019年度地域産業応援資金（西武信用金庫）について ● 地域連携センター関連イベント等の実施報告 ● 「こくカレ」（こくぶんじカレッジ）について ● 各委員報告 ● その他

(6) 地域連携センターイベント

1) cocobunji プラザオープニングイベント

★「こくスマ！」

企画：こくスマ！実行委員会

日時：4月4日（水）

場所：cocobunji プラザリオンホール



2018年春、オープンした国分寺駅北口にある公益スペース、国分寺市 cocobunji プラザで、こくスマ！実行委員会が企画した催し「こくスマ！（国分寺スマイル）～みんなを笑顔にするオープニングイベント～」が同プラザの開館を記念したオープニングイベントの一つとして開催されました当日は、小木紀親ゼミの「こくベジ（地場野菜）販売会」や尾崎寛直ゼミとボランティアサークル Clover が講演を行う「まちづくり活動報告」などが行われ、会場には親子連れがの姿が多く見られました。また、落語研究会やアカペラサークル、ギタークラブなどによる「こくスマ！ライブ」、学生発のシェアリングエコノミーが体験できる「リサイクルマーケットと不要品オークション」などの企画も並行して行われました。ボランティアサークル Clover は、ぶんじマルシェ北口連合商店会と協力して行っている地域の街づくりサポーター組織「グリーンプライド」の清掃活動について報告し、「国分寺に住む人や国分寺に通う人がより気持ちよく過ごせるように、さらに活動の幅を広げていきたい」と熱く語りました。「リサイクルマーケット」は、参加者が持ち込んだ不要品をイベント内の通貨「サクラ」に換算し、この通貨で他の参加者が持ちこんだ商品や「不要品オークション」で買い物ができるという仕組みになっており、ブースは老若男女問わず多くの参加者で賑わっていました。



3) CRC カフェ

★第1回★ ボランティアサークル Clover 活動報告会

日時： 6月28日（木）12：15～12：55

場所： 地域連携センター

参加者数： Clover 5名

職員 2名 学生 10名



6月28日（木）昼休みの時間を利用して、地域連携センター昼休み講座 CRCcafe を開催しました。

今年度第1回目となる今回は国分寺地域で大活躍している本学のボランティアサークル Clover の活動報告会で、学生や教職員が参加しました。

Clover の活動の中核である、「Green Pride」、「だれでもアートこくぶんじ」、「姿見の池ボランティア」、「その他、もとまち運動会など」について、それぞれのリーダー4名がパワーポイントや映像を交えて発表を行いました。

参加者からは、たくさんのメンバーをまとめるためにどのようにしているのか、ボランティア活動を続けていくために、どのような努力をしているのかなどの質問があり、ボランティア活動についての知識が深められた講座となりました。



3) CRC カフェ

★第2回★ 100マス計算バトル

日時： 7月2日（月）12：20～12：50

場所： 地域連携センター

講師： わらしべ長者プロジェクト

参加者数： 本学学生 10名

地域連携センター昼休み講座
第2回 CRC cafe

100マス計算バトル開催!

わらしべ長者プロジェクト企画!

計算にちよっと自信のある方、無い方、普通の方！
楽しそうと思った方、どうぞお気軽にご参加ください！
★参加者は不要品をひとつお持ちください。
(不要品の持ち込みだけでもお待ちしております！)

2018年4月4日、国分寺野老口高野林の10000坪プラザ
オープンイベントで大活躍した本学学生サークル
『わらしべ長者プロジェクト』が、キャンパスで楽しいこと
が盛りだくさん！と楽しませました。
地域連携センターで楽しく学習を深めるとともに、異動
への出店を計画しているわらしべ長者プロジェクトメンバー
の経験・知識を広く多くの方に共有します。

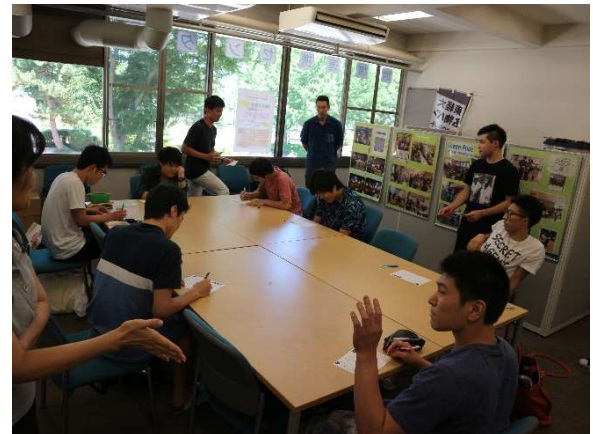
家族と一緒に
おいまわりたい!

日時	2018年7月2日（月）12：20～12：50
場所	地域連携センター（1号館2階）
概要	わらしべ長者プロジェクトの活動紹介及び事後メンター講習会 参加は無料の不要品回収、 地域連携センターで楽しく学習を深めるとともに、異動 への出店を計画しているわらしべ長者プロジェクトメンバー の経験・知識を広く多くの方に共有します。
100マス 計算の持 ち込み	1マス1点とし、かつたお題を引いた現金帳で問題を扱います。 および全問地域連携センターで解答予定です。（2名1名1コンクーム） また優勝にはプレゼントをご用意!!
お問い合わせ	わらしべ長者プロジェクト Twitter : @warabe1676 Email : warabe1676@kaiyodai.ac.jp

参加申し込みは
地域連携センター
地域連携センター
地域連携センター

7月2日（月）お昼休みの時間を利用して、わらしべ長者プロジェクトのメンバーによる「100マス計算バトル」が開催されました。

地域を元気にする活動の紹介と、メンバー募集、葵祭で出店する不要品の回収活動を同時に行いました。



3) CRC カフェ

★第3回★ 夏ボラ説明会

日 時： 7月9日(月)・10日(火) 12:15~12:55

場 所： 地域連携センター

講 師： ボランティア活動センターこくぶんじ

参加者数： 本学学生8名、教職員5名

ボランティア活動センターこくぶんじの方を講師としてお迎えし、ボランティアについての講座を開催しました。



お昼休み
開催!

第3回
CRC CAFE 夏ボラ説明会

事前申込み
不要

初年度
大歓迎!

日時： 7月9日(月)・10日(火) 12:15~12:55

場所： 地域連携センター (1号館2階「学生ラウンジ」横)

講師： ボランティア活動センターこくぶんじ

お昼ごはん
持込みOK!

ボランティア活動センターこくぶんじのスタッフより、夏期ボランティアの募集や活動の活動について、ボランティアの魅力を伝えるとともに、お申し込みの受付を行います。希望者は当日センターへの登録が必要です！
夏休み期間中に何をしようか考えている方、気軽にお越しください！ランチ持ち込み可能です。

夏休みはボランティアしてみませんか~!



3) CRC カフェ

★第4回★ はこの中身はなんじゃろな

日 時： 10月16日（火） 12：20～12：50

場 所： 地域連携センター

講 師： こくスマ！実行委員会

参加者数： 本学学生 15 名

こくスマ！実行委員会による、地域活動紹介とイベントを開催しました。
メンバー募集と葵祭で出店するための不要品回収活動を同時に行いました。

地域連携センター昼休み講座
第4回 CRC cafe

TOKEI FRIEND PARK
～箱の中身はなんじゃろな～

バラエティー番組などでよく目にするあの企画が実際に実現？
箱の中身はなんじゃろな企画が開催されます。
優勝者には豪華景品をご用意しております。参加者はもちろん、盛り上げ役に敵してくれる方もお待ちしております。お気軽にご参加ください。

不要品回収
ご協力お願いします！

葵祭期間中、葵祭会館2階で物々交換とフリーマーケットを行います。開催にあたって備品不足のため、不要品をご提供くださいませ。ご協力お願いします。
【対象物品】衣類、本、おもちゃなどで使用可能なもの、食器、調理器具は未使用品のみ。
【回収場所】地域連携センター（1号館2階）
11/11木 16時まで

日時 2018年10月16日（火）12：20～12：50

場所 地域連携センター（1号館2階）

概要 こくスマ！実行委員会・わらしべ長者プロジェクトの活動紹介及び新規メンバー募集。
葵祭出店用の不要品回収。
地域でのイベント参加・企画など興味のある人はぜひご参加ください。（葵祭会館2階を使って企画運営ができます。）

箱の中身はなんじゃろなとは？ 箱の中身に見られたものを手探りで当てて当てるシンプルなゲーム。中身が見えないスリル感がかみつきになるかも？一回当てるとに1ポイントが加算され、合計点で優勝者を決めます。

お問い合わせ わらしべ長者プロジェクト
Twitter：@warasibeTKU
Email：15e0547@tku.ac.jp
（こくスマ！代表 町塚）

高単しだがら準備OK！
事前予約不要
先着20名まで
不要品届込だけでもOK

こくスマ！実行委員会・わらしべ長者プロジェクトの企画！



4) CELEO 寄席

★敬老の日寄席

日時：9月17日 ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～

場所：CELEO 国分寺 9階特設ステージ

★新春寄席★

日時：1月3日 ①12:00～ ②13:00～ ③14:00～

場所：CELEO 国分寺 9階特設ステージ

「CELEO 寄席」は CELEO 国分寺と本学地域連携センターとのコラボ企画として、今年度は3年目の開催となりました。

敬老の日、新春のイベントとして落語研究会による寄席を披露します。

学生にとっても発表の場となり、多くの買い物客の皆様にご覧いただきました。

★敬老の日寄席



★新春寄席★



5) こくぶんじ市民活動センターコラボレーション
シンポジウム「こらぼ de サロン」

日時：2018年12月18日(火) 17:00~19:30

場所：cocobunji WEST5階

講師：東京経済大学 経済学部特命講師 鈴木 恒雄



12月18日(火) cocobunji WEST 5階 リオンホールにおいて、「こらぼ de サロン 大学生と創る地域の力 vol.13」が開催されました。

このシンポジウムは地域活動に取り組む本学学生と市民活動団体のつながり作りとして、こくぶんじ市民活動センターと地域連携センターのコラボレーションで開催されています。

本学経済学部 鈴木恒雄特命講師による地域連携プラットフォーム「Green Pride」についての講演に続き、学生による地域活動報告「こくめしプロジェクト」、「防災ベンチ設置プロジェクト(立川市)」が行われ、その後は参加者と学生を交えたグループディスカッションが行われました。



II. 地域連携

1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会

1) 協議会運営委員会

平成 30(2018)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 23 回	平成 30 年 4 月 27 日 東京経済大学	○委員交代と委員会の構成について ○専門委員会の平成 29 年度事業報告について ○専門委員会の平成 30 年度事業計画について ○協議会（第 17 回）の開催について

2) 国分寺地域産業研究委員会

平成 30(2018)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
	開催なし	

3) 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

平成 30(2018)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 28 回	平成 30 年 3 月 22 日 東京経済大学	○委員の変更 ○2018 年度(平成 30 年度)事業報告 ○2019 年度(平成 31 年度)事業計画

4) 国分寺地域総合学習委員会

平成 30(2018)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 25 回	平成 30 年 6 月 26 日 東京経済大学	○平成 28(2016)年度開催実績報告 ○平成 29(2017)年度開催予定(案)の確認 ○東京経済大学・国分寺市共催事業のあり方について ○第 36 回市民大学講座の充実にむけて
第 26 回	平成 31 年 3 月 29 日 東京経済大学	○平成 30(2018)年度市民大学講座開催結果報告 ○平成 31(2018)年度事業計画(案)

2. 国分寺周辺地域活動費助成事業

1) ゼミ展示会

経営学部教授 青木 亮

2018年11月8日(木)から2018年11月11日(日)まで

本年度は、国分寺市本多公民館にて、5月18日から20日の3日間行われた新緑祭りへの参加と、11月8日(木)から11月11日(日)の1週間を利用して実施したゼミ展示会を行った。

新緑祭りへの参加は、一昨年度より本多公民館の方からお誘いを受けて実施することになった。前年度のゼミ展示会(繁栄する中央線と国分寺)の内容を再構成したパネル展示を行った。パネル展示と共に、前年度の1月後半から他の参加団体と協力してポスターの作成に取り組んだほか、前日と最終日には会場設営に協力した。参加団体の構成員に高齢者が多いこともあり、パネルや椅子、机の移動を伴う会場設営作業では、体力のある学生の参加は多くの方から喜ばれた。

また本年度は国分寺市街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり懇談会に6月17日と10月5日の2回、ゼミ生が参加して、道路整備後の国分寺街道周辺の賑わいについて、市民の方と議論を深めた。

11月に行うゼミ展示会は、2006年から継続しており、本年度は会場の都合から11月前半の開催になった。今回は「東元町まちづくりプラン」をテーマに、国分寺街道の拡幅、新道路整備後の東元町周辺の賑わい創出プランについて検討した。市民を対象にパネル展示を行い、4日間で190人の来場者に展示をご覧いただいた。ゼミ展を通じて、都市計画道路計画と地域振興について、多くの市民に関心を持っていただけたらと考える。

アンケート結果より展示会にこられた方の意見をみても、

- ・国分寺街道の事故を減少させるため、新しい道路を作ると同時に、東元町商店街の活性化が進むことで、安全で活気づいた地域の発展への期待ができることが分かりました。
- ・よく調べていて素晴らしいと思いました。プラレールで見せるという発想がすごい。
- ・地域の交通、活性化の話題につき、よく検討が重ねられていると思います。「こくベジ」を初めて知りました。
- ・こくベジや商店街活性化がよかったです。新道路比較がわかりやすかった。

など、展示内容等について意見をいただいた。これらについてはゼミの時間を利用してアンケート結果の報告を行い、学生へフィードバックした。来年度以降、展示内容の改善に役立てていきたいと思う。現在、2019年度(5月開催予定)の新緑祭りに向け、準備を進めている。



2) Web サイト「国分寺物語」を活用した国分寺市の活性化

経営学部教授 小木 紀親

開催期間：2018年4月1日(日)から2019年2月28日(木)まで

- ①Web「国分寺物語」(<https://kokubunjimonogatari.com/>)の企画・運営・執筆・情報配信（およそ5日に一度、ゼミ学生によるFacebookやHPを更新）を行い、もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。
- ②常時、国分寺市役所と連携し、本学の取り組みとして国分寺市の地域活性化に寄与し、地域貢献を果たした。
- ③Webサイト「国分寺物語」のシンポジウムを12月5日に開催し、国分寺市民の方々との交友を深めた。もって本学の取り組みとして国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。
- ④国分寺第2中学校において1年生の特別授業内でレクチャー（国分寺物語の取材方法及びこれまでの成果についてレクチャー）を行い、地域貢献を果たした（9月）。
- ⑤オープンキャンパス内で「国分寺物語」の活動を高校生及び保護者に発表した（8月）。
- ⑥国分寺市及び国分寺市観光協会主催「こくぶんじ写真コンクール」の審査員としての参加し、同コンクール内の「国分寺物語賞」の選考を行った（3月の表彰式にも出席）。
- ⑦国分寺市散策マップの作成を行い、それらを「カフェといろいろ びより」にて展示した（1月）。
- ⑧国分寺駅オープニングイベント「こくスマ！」(cocobunji プラザ5F)にて「国分寺物語」の活動報告と、清水農園とコラボした野菜の即売会を行った（4月）。また「こくベジのじかん Xmas マルシェ」にも参加し、こくベジの販売にも協力した（12月）。
- ⑨多摩大学のアクティブラーニング祭にて「国分寺物語」の活動報告を行った（12月）。



3) ぶんじコンシェルジュの創設

経済学部特命講師 鈴木 恒雄

開催期間：2018年7月2日（月）から2019年1月31日（木）まで

1. 企画の実施内容

昨年度、本学地域連携センターが国分寺駅北口連合商店会と連携して結成した学生参加型プラットフォーム組織“グリーンプライド”に国分寺市観光協会が加わり、活動内容の幅を広げた。昨年11月13日と14日の両日、本学にて国分寺市観光協会による「ぶんじコンシェルジュ基礎研修」を開講し、研修プログラムを修了した16名の学生がコンシェルジュに認定された。なお、研修講師に本学理事である星野会長が担当された。国分寺市の魅力を案内していく役割を担うべく、国分寺の玄関口となる国分寺市案内所(cocobunjiWEST1階)を主活動の場とするため、主管部署である国分寺市文化振興課と施設利用などに係る協定を締結した。今年度の活動日時は、祝日を除く月、火、水曜日の17時から19時の間、学生達は本件補助事業にて制作したぶんじコンシェルジュのビブスを着用して案内活動することが決まった。さらに、マンパワー不足を補完するため、コンシェルジュ基礎研修を受講していない学生も見習いバッジを装着することで活動への参加資格を加え、主体的な運営を任意の学生組織「こくスマ！」に委譲した。

本件事業の周知を図るため、昨年12月8日と9日にオープニングイベントを開催して活動をスタートさせた。当日は来場者に向けて国分寺クイズなどの催しをはじめ、オリジナル国分寺バッジや風船を300個配布し、認知度の向上や地域愛の醸成に努めた。これに際し、本件事業の告知フライヤーを2種類作成し、行政機関各所へ配置並びに通行人へ配布した。

2. 成果及び今後の課題

本件事業については、国分寺市長をはじめ、国分寺市及び国分寺市観光協会からも賛同をいただき、多大なご協力の下、事業の実現に至った。オープニングイベント以降、毎月週3日活動しており、多い日で12名の利用者が訪れるなど、現在まで1日平均6.8人が利用されている。日経新聞やJ:COMの取材を受け、マスコミに取り上げられた効果も大きい。さらに国分寺市からは通年の活動を希望していることから、実施体制の強化を図るため、国分寺市観光協会も加えた三者による協定の締結による活動内容の拡充に加え、運営主体となる学生数の増強を図る予定である。



4) 音楽デュオ・ペペ (Paix2) に学ぶ音楽ボランティア精神とボランティア実践

現代法学部教授 西下 彰俊

2018年6月14日(木) から2019年2月28日(木)まで

本年度の西下ゼミの国分寺周辺地域活動は、(1) 音楽デュオ・ペペ (Paix2) に学ぶ音楽ボランティア精神の企画と (2) 特別養護老人ホームにおける音楽ボランティア実践から構成される。

(1) 音楽デュオ・ペペ (Paix2) に学ぶ音楽ボランティア精神の企画について

現代法学部で法律を学ぶゼミ生 25 名から構成されるゼミなので、ゼミ生にとって、全国の刑務所や少年院で 15 年以上にわたり合計 470 回のプリズンコンサートを開く〈ペペ〉の活動は生きる教材だと考え、イベントを開くに至った。2018 年 12 月 13 日 (木) 17:00~18:00、ココブンジプラザ 5 階のリオンホール A と B を借りて、ペペのトークショーを開催した。当初はコンサートを企画していたが、音響機材の故障によりトークショーとなったが、お二人ともトーク力が高く、ゼミ生や一般参加の方や小生からの質問に答える形で、ペペさんの日頃の音楽ボランティア活動の〈精神〉を詳しく聞くことが出来た。舞台設営から撤収までの作業の苦労とともに、ペペのお二人が直接語る生き方からゼミ生たちは多くのことを学ぶことができた と確信する。

なお、リオンホールの利用の申し込みから振り込みまで地域連携センターの山田様にやっていただいたので大いに助かった。課題としては、小生がサバティカルで講義を担当していないためにイベントの告知がうまくできなかったことがあげられる。一般参加の方も少なく、告知の難しさを感じた。

(2) 特別老人ホームにおける音楽ボランティアの実践について

本年も 12 月 26 日 (火) に国分寺市内の特別養護老人ホームうれしのの里で音楽ボランティアを実施した。小生の急病によりゼミ生 25 名による音楽ボランティアとなったが、首尾よく実践することが出来た。なお、武蔵野市つきの苑での音楽ボランティアは 1 月 18 日に行う予定であったが、苑の入居者の風邪が蔓延しているため延期となり、3 月 18 日に行うこととなった。冬場の介護施設で音楽ボランティアをすることの難しさを痛感する。



5) 農福連携と障がい者のスポーツを通じた社会参加支援

経済学部准教授 尾崎 寛直

2018年5月2日(水)から2019年2月4日(月)まで

今年度も昨年来始まった地元の大手デパート・国分寺マルイとのコラボ事業も継続し、引き続き①国分寺市障害者センター、②NPO 法人オハナ、③国分寺マルイ、という大学の地元の三法人とのコラボレーションをゼミ活動の重要な柱として位置づけた。

それに合わせてゼミのメンバーは、でも販売や新商品開発等を統括する「どーむ班」(7人)、「農福連携」の観点から農作業を活かした障害者就労支援を担う「オハナ班」(6人)、そして就労が難しい重度の利用者らの運動や社会参加を支援する「太陽班」(6人)、「マルイ班」(6人)の4つのチームに分かれてそれぞれの活動に従事した。各リーダーが運営(計画づくりから予算の執行まで)の判断を行うとともに、障害者センター・Ohana・丸井の各スタッフにそれぞれ班の担当として調整役・指導役として協力いただき、学生のアイデアをかたちにしていく体制を整えた。

「どーむ班」では、施設の当事者の方々の集まる「利用者会議」にさせてもらうなかで、利用者の方々と密に交流するとともに、より多くの消費者に当事者の製品を届けるための工夫、販売方法や新製品開発など学生ならではのアイデアが活かされた。「オハナ班」では、今年も夏のオープンキャンパス「女子カフェ」に提供するクッキー800個を利用者とともに製造することにチャレンジしたほか、農園の作業「こくベジ」プロジェクトにもボランティアとして参加し、当事者と協働して働くという経験を積み重ねることができた。「太陽班」では、江ノ島などのバスツアーを2回も実施したほか、利用者が日中活動で作る陶器やアクセサリなどの創作品の制作にも参画した。また秋のスポーツ大会では、全体の運営に関わったほか、独自のスポーツのルールや新競技を考案し、一緒に楽しみながら障害者スポーツの可能性について理解を深めてくれた。

このように、障害のある当事者が地域の中で「目に見える」形でスポーツなどの活動をしたり、彼自身が製造した製品販売の実践を通じて、地域社会における「ノーマライゼーション」の定着に大きく貢献できたと考えている。



6) 国分寺地域における武蔵野の里山保全活動

学務課 石原 融

2018年4月1日(日)～2017年2月28日(木)まで

企画内容： 本学として、地域交流活動の活性化を支援するため、国分寺地域周辺で行われる地域連携・地域貢献活動としての自然を守る活動を行う。今年度は6回おこなった。

武蔵野の自然についての講演会を開催し、自然保護の理解、普及に努める。

- ① 12月13日(木) 『国分寺の用水と新田開発①』 –美しい用水の会–
・恋ヶ窪公民館にて
- ② 12月15日(土) 『国分寺の緑地を守る活動』 –国分寺市にふるさとをつくる会–
・恋ヶ窪公民館にて
- ③ 1月18日(金) 『大昔の国分寺』 –国分寺市にふるさとをつくる会–
・cocobunji プラザセミナールームにて
- ④ 1月19日(土) 『国分寺の用水と新田開発②』 –美しい用水の会–
・cocobunji プラザセミナールームにて
- ⑤ 2月9日(土) 『湧水の出る街に住んで』 –蛸よもう一度の会–
・もとまち公民館にて
- ⑥ 2月12日(木) 『野川地域の湧水と遺跡 論文研究会』
–国分寺にみどりと水辺をはぐくむ会
・恋ヶ窪公民館にて



3. 学生の社会貢献活動に対する助成事業

1) 地域コンペティション挑戦チーム

1. 学生団体名

山本聡ゼミナール 地域コンペティション挑戦チーム

(①：東大和班 ②～⑤：TAMATEHAKO イベント第1回～第4回)

2. 開催日時

- ① 2018年8月24日(金) 14:00～
- ② 2018年7月6日(金) 14:45～16:30
- ③ 2018年8月7日(火) 10:30～16:00
- ④ 2018年11月18日(日) 14:00～16:00
- ⑤ 2018年12月2日(日) 11:00～13:00

3. 概要

- ①五日市憲法の魅力を伝え、東大和の特産品のお茶を使った香水作り体験をしてもらう。
- ②国分寺、多摩地域の食材や直売所について、手作りジャムを味わいながら学んでもらう。
- ③かき氷作りや多摩野菜MAPのワークショップを通して、親子で地域野菜や食育に触れてもらう
- ④ホットケーキミックスを作った野菜のおやつ作りを通して、東大和の野菜について知ってもらい、触れてもらう。
- ⑤ 東大和で採れた野菜を使った調理体験や、収穫体験を通して地域の農家の魅力について知ってもらう。

4. 意義

- ①五日市憲法が知られていないため、魅力を知ってもらおうと考えたため。
- ②地域の食材や直売所について紹介することで実際に足を運んでもらい、地域活性化につなげる。
- ③子供向けの内容にすることで、親子で地域野菜に触れてもらい、足を運んでもらうと同時に子供の野菜嫌いの改善を目的とする。
- ④⑤の第4回 TAMATEHAKO イベントに向けて東大和の農家や野菜について知ってもらい、足を運んでもらう。
- ⑤中央線沿線の親子に食育して東大和の農家について知ってもらうことで、広域連携・地域活性化に繋げる

5. 広報の方法

- ①チラシの配布、SNSでの告知(山本聡ゼミナール Twitter)、中小企業大学校でのチラシの掲示。
- ②チラシの配布、掲示、SNS(山本聡ゼミナール Twitter、カフェといろいろ facebook)

- ③ チラシの配布、掲示、SNS(山本聡ゼミナール Twitter、カフェといろいろびより facebook)
- ④ チラシの配布、掲示、SNS(山本聡ゼミナール Twitter、カフェといろいろびより facebook)
- ⑤ チラシの配布、掲示、SNS(山本聡ゼミナール Twitter、カフェといろいろびより facebook)

6. スケジュール

- ① 五日市憲法について講師の方に講演してもらった後、香水作り体験をしてもらう。
- ② (1) 地域野菜、果物で作ったジャムの試食 (2) 食材の紹介 (直売所、調理方法等)
- ③ (1) 凍らせた野菜果物でかき氷を作って食べる (2) 地域 MAP 製作等のワークショップ
- ④ (1) 東大和の野菜とホットケーキミックスでおやつを作って食べる (2) 野菜の折り紙等のワークショップ
- ⑤ A コース 収穫体験 (やすじいの農園にて、人参、大根の収穫)
B コース 調理体験 (やすじいの農園の野菜を使ったカレー作り)
食事、ワークショップ (A・B コース共通)

7. 当日来客数等

- ① 12名
- ② 6名
- ③ 21名
- ④ 9名
- ⑤ 24名

8. 当日の内容

- ① 香水作り体験ではゼミ生が作り方を説明して回った。
- ② ゼミ生手作りのジャムを試食しながら食材を調達した直売所やジャムの作り方について紹介した。
- ③ 参加者に実際にかき氷を作ってもらった。ワークショップでは野菜を折り紙と一緒に作り、学んでもらった。
- ④ 野菜とホットケーキミックス混ぜ合わせ、型に入れるなど調理体験を行った。塗り紙、折り紙のワークショップも実施した。
- ⑥ 収穫体験と調理体験に分かれ、各々活動した後、完成したカレーを食べ、ワークショップを行った。

9. 所感

五日市憲法を知ってもらい良いきっかけとなった。また、香水については発想・取組みは素晴らしいなどの好評をいただいた。

全 4 回の食育イベントを通して、地域の親子に地域野菜や直売所、農家を知ってもらい興味を持ってもらうことができた。一部の参加者には実際に東大和のイベントに足を運んでもらうことができた。

10. 写真添付

TAMATEHAKO(たまてはこ 多摩✕手✕箱)イベント

◆手作りジャムの作成



◆かき氷作り・多摩野菜 MAP ワークショップ



◆調理体験・収穫体験



大地のカコンペティション 未来創造賞受賞！

山本聡ゼミナール食育班のメンバーが、学外コンペティション「大地のカコンペ」に出場し、今後の飛躍を期待する「未来創造賞」を受賞しました。

<https://daichi-no-chikara.awable.org/outline/>



2) 東京経済大学落語研究会

1. 学生団体名

東京経済大学落語研究会

2. 開催日時

平成30年12月1日18時会場・18時30分開演～20時30分終演

3. 概要

本学落語研究会とOBである春風亭柳橋師匠をお招きして開催した落語会。

4. 意義

日ごろお世話になっている地域の方々への感謝と交流を目的としている。

5. 広報

SNSでの情報宣伝活動を中心に、新聞の折込や一週間前からの駅周辺でのチラシ配り。

6. スケジュール

11月5日頃から葵名人会の開催をSNS等で告知。同時期に新聞の折込も実施。

11月24日から駅前でのチラシ配り。

12月1日に葵名人会開催

7. 当日来客数等

106人

8. 当日の内容

開口一番 振られ屋孤独
振られ屋ちき笑
大倉亭高笑
三遊間ヒット
青春家若人
仲入り
春風亭柳橋
とり にこにこ亭まみー

9. 所感

新設のリオンホールでは会場の照明、空調、席の並び等の備品の扱いに手間がかかった。加えて、想像以上に来場者が多く、開演よりも早めに入口で待たれていたの
で、催促されることがあった。それでも師匠や地域の皆様のおかげで、落語を楽しみ
で来場された多くの方々には満足されていた。次回は早期の会場設営と備品の点検に取
り組むよう改善していきたい。

10. 写真



3) わらしべ長者プロジェクト

1. 学生団体名

わらしべ長者プロジェクト

2. 開催日時

2018年11月2日（金）～11月4日（日）11：00～16：00

3. 概要

葵陵会館2階でのフリーマーケットと物々交換会、アナログレコード鑑賞会

4. 意義

葵祭来場者の休憩所である葵陵会館2階を快適な空間にし、来場者を笑顔にする。

5. 広報の方法

ポスター、看板

6. スケジュール

10：00～11：00 会場準備

11：00～16：00 フリーマーケットと物々交換会とアナログレコード鑑賞会を、葵陵会館2階スペースでそれぞれ同時に行う。

16：00～17：00 片付け

7. 当日来客数等

210名

8. 当日の内容

フリーマーケットと物々交換は、事前に学内学生、教職員に不用品の提供を呼びかけて集めたものを出し、売り上げを国分寺市社会福祉協議会へ寄付した。

アナログレコード鑑賞会は会場にテーブル・椅子・フリーの飲み物（お茶とジュース）を用意して、休憩に来た来場者に音楽を聴きながら寛いでもらった。

9. 所感

昨年続き二回目の開催となったが、去年よりも来場者は増え、小学生から高齢の方々まで幅広い年齢層の来場者が楽しんでくださり私たちスタッフも楽しむことができました。なかには第一回わらしべカフェの常連さんが10人ほど遊びに来てくださり、継続の大切さを思い知らされました。来年度もこちらの助成金を申請し、継続していきたいです。



Ⅲ. 産学連携

1. 多摩信用金庫

第6回 東京経済大学・多摩信用金庫 共同シンポジウム

標 題：「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」

日 時：平成30年12月18日（火）13：00～16：30

会 場：東京経済大学 進一層館

1. 大学挨拶 東京経済大学学長 岡本 英男
2. 来賓挨拶 東京都知事 小池 百合子 氏
3. 企画趣旨説明 東京経済大学 経営学部准教授 山本 聡
4. 講演1 中小企業振興に関する中長期ビジョン（仮称）と多摩地域への期待
5. 講演2 東京都の中小企業振興ビジョンの背景と問題意識
東京都商工会連合会 会長 村越 政雄氏（有識者会議 委員）
株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO 浜野 慶一氏
東京経済大学 経営学部准教授 山本 聡
6. 講演3 東京都の中小企業振興ビジョンを踏まえた多摩地域の産業振興について
株式会社コスモ計器 代表取締役 古瀬 智之氏
多摩信用金庫 理事長 八木 敏郎
7. ディスカッション
8. まとめ 早稲田大学 商学学術院（商学部）教授 鶴飼 信一氏

東京経済大学・多摩信用金庫共催 地域活性化シンポジウム「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」が2018年12月18日（水）、東京経済大学大倉喜八郎 進一層館ホールで開催されました。

本学経営学部山本聡准教授は「東京の中小企業振興を考える有識者会議」に委員として参加しています。本シンポジウムは当該会議で議論された「中小企業振興に関する中長期ビジョン(仮称)」を多摩地域の中小企業、自治体、支援機関に情報発信することを目的として、山本准教授が企画し、多摩信用金庫の協力、東京都商工会連合会や東京都の全面的な支援により、開催されたものです。多摩地域の事業者や行政関係など、多数ご参加いただきました。



2. 西武信用金庫

①加藤みどりゼミ中小企業講演会

12月11日(火)、経営学部加藤みどり教授のゼミの授業を公開とし、中小企業講演会を開催しました。

講師には、本学と包括的連携協定締結先である西武信用金庫より優良企業をご紹介いただき、そこで活躍されている若手マネージャーの方をお招きしてご講演いただきました。

中小企業で働くこと、大企業との違いなど知ることができ、これからの就職活動や大学生活において、貴重な機会となりました。

日時：2017年12月11日(火) 16:20~17:50

会場：E202 教室

講師：株式会社キャリアコンサルティング
ネクサス事業部2部2課
課長 坂本 俊人氏

優良企業若手マネージャーに学ぶ
中小企業講演会
中小企業で働くとは
就活のヒントに
できる社会人とは
大学時代にやるべきことは
12月11日(火)
16:20-17:50 E202教室
経営学部加藤みどりゼミの授業を公開し、中小企業講演会を開催します。履修授業優先、学部・学年不問、どなたでも参加できます。
【講師】株式会社キャリアコンサルティングネクサス事業部2部2課 課長 坂本 俊人氏
SEIBU 西武信用金庫 * 経営学部 加藤ゼミ
協力：地域連携センター

②知財を活用したビジネス創出（大学連携）

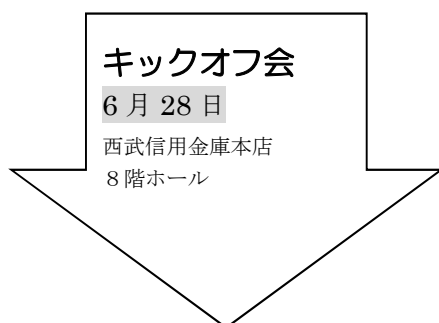
【取組概要・目的】

- 大手企業の技術を利用して地域企業が新規ビジネスを創出することを目的としている。
- 大手企業に（知財）シーズを提供してもらい、新たなビジネス（商品・サービス）プランを考案する。
- ビジネスプランを考案するのは文系の大学生。
- ビジネスを事業化するのは地域の（中小）企業。
- この取組を地域金融機関・支援機関等が支援して行う。

【参加チーム】

活用特許名	富士通の開放特許「スマートクリップ」
チーム名	KIHACHIRO (山本聡ゼミ) 
グループ人数	4名
アイデア名	挟侍（きょうじ）
アイデア概要	富士通の開放特許「スマートクリップ」を用いた店員の接客ミスを補う製品「居酒屋用バインダー挟侍」

【全体の流れ】



6月28日

会場：西武信用金庫本店8階ホール

大会についての説明、特許提供企業による説明、質疑応答などが行われました。



アイデア記入
シートと写真提出

大会サイトにアップされ、本エントリーとなります

第1回
ブラッシュアップ会
8月27日

8月27日 会場：A310 教室
西武信用金庫、富士通株式会社のご担当者様よりアドバイスをいただきました。



第2回
ブラッシュアップ会
11月15日

11月15日 会場：A310 教室
1回目のブラッシュアップ会からさらに内容を深めたビジネスアイデアをプレゼンテーションし、富士通株式会社、中小企業振興公社、西武信用金庫の方々から前回に引き続き、多くのアドバイスをいただきました。



技術審査会
(予選会)

11月27日

11月27日

会場：西武信用金庫 西武人材センター
東京予選会には法政大学など東京の5つの大学から13チームが参加しました。山本聡ゼミでは5ヶ月間、ヒアリングなどから事業計画のブラッシュアップを繰り返した「居酒屋バインダー KYOJI」を発表、上位4チームの一つに選ばれました。



知財活用スチ
ューデントア
ワード(本選)

12月5日

12月5日

会場：昭和女子大学

東京、埼玉、静岡、長野の各地区予選を突破した12チームが参加し、山本聡ゼミチームが最優秀賞を獲得しました。

審査員から学生ならではの独創的な発想、データと15件のヒアリング調査に裏打ちされた事業計画の具体性、プレゼンテーションの明快さ、地域貢献性を高く評価され、満場一致での最優秀賞となりました。



IV. 学生の社会貢献活動

◇ 尾崎ゼミコラボ販売

国分寺市障害者センタースイーツ IZUMI と NPO 法人 Ohana とコラボをし、生協販売、葵陵館前や地域のイベントで販売活動を行いました。

葵陵会館前デモ販売実施日程

- ①2018年5月17日
- ②2018年6月14日
- ③2018年7月12日
- ④2018年10月11日
- ⑤2018年11月8日
- ⑥2018年12月13日



◇ ファーマーズフェスタ活動報告

5月19日(土)・20日(日)、小金井公園 いこいの広場において、JA東京むさし壮年部創立20周年事業「情熱！ファーマーズフェスタ」が開催されました。

2日間で約22,000名もの人々が来場し、ステージイベントやマルシェ、ワークショップなどのイベントで大変盛り上がりしました。

東京経済大学 鈴木恒雄特別ゼミの10名はファーマーズマルシェで、野菜の販売などで活躍しました。

ステージイベントでは、アカペラサークル、管弦楽団、スウィングジャズ研究会が参加し、会場を盛り上げました。



◇ 車いすテニスの体験会活動報告

2018年8月13日、スポーツクラブルネサンス西国分寺において、経済学部尾崎寛直ゼミの学生たちと国分寺市や地元企業が協力し、車いすを利用する方を対象とした「車いすテニス」の講習会を行いました。ゼミ生は、障がいを持つ方にイベントを通じて楽しく体を動かすため、サポート活動を行いました。



◇ 国分寺野外シネマフェスティバル 2018 のボランティア活動報告

2018年8月18日、南町ひだまり公園において「国分寺野外シネマフェスティバル」が開催されました。

約500名が参加し、大盛況のイベントとなりました。

ボランティアサークル Clover が当日の会場の設営、案内などの協力をしました。



◇ Bunji Global Forum&Festa2018 活動報告

2018年9月8日（土）、都立武蔵国分寺公園と都立多摩図書館セミナールームにおいてBunji Global Forum&Festa2018が開催されました。

国分寺青年会議所主催のBunji Global Forum&Festa2018は、海外の文化に興味がある方はもちろん、これまで国際交流を体験したことがない方も楽しめるイベントとして開催されています。

2016年から始まり、今回で3回目を迎えたイベントですが、本学学生は初回から参加協力を行っています。今年は様々な国の言葉でのコミュニケーションにチャレンジする、おしゃべりサロンでの対応や、国分寺野菜であるこくベジの販売と国分寺観光PRの協力をしました。



◇ ぶんじハロウィン 2018 活動報告

2018年10月28日（日）、国分寺北口商店会において「第6回ぶんじハロウィン」が開催されました。

「学生の地域貢献」履修生が参加し、オリジナルのお茶を作るワークショップを行い、イベントを盛り上げました。



◇ ぶんぶんウォーク 2018 活動報告

11月24日(土)・25日(日)に「ぶんぶんウォーク 2018」が開催されました。

今年で8年目となるぶんぶんウォークは、都立武蔵国分寺公園周辺において様々な企画が開催されるイベントです。

尾崎ゼミは史跡湧水タウンの準備、設営、出店「東経汁」の提供、小木ゼミは国分寺物語で広報協力、当日の受付手伝いなど。

ボランティアサークル Clover は親子企画とギャラリーウォーク手伝いなどで活躍しました。



◇ 国分寺お店大賞（国分寺まつり）活動報告

国分寺お店大賞とは、国分寺市内の個性的で魅力あるお店を発掘し、さらなる魅力向上や地域の活性化を図ることを目的とした事業で、国分寺市商工会と本学経済学部鈴木恒雄特命講師およびそのゼミ履修生が協働で開催しました。

人々が地域イチ押しと思うお店を投票して「飲食部門」「小売・サービス部門」の2部門それぞれのグランプリ1店、準グランプリ2店を選びます。

今回第1回目となった国分寺お店大賞の結果発表&表彰式が11月4日（日）、地域最大のイベントである国分寺まつり、会場Aステージにて盛大に執り行われました。当日は大勢の地域の方々が見守るなか、国分寺市商工会会長、国分寺市長、本学学長が参列し、本学放送研究会が司会を務め受賞店を表彰しました。

表彰式の後には、会場内鈴木ゼミ生のブースにて表彰店の紹介動画を流したり、集まった投票から沢山のコメントをまとめた資料の展示やアンケート調査などを行って注目を集めました。



◇ 国分寺南栄商店会防災炊き出しボランティア活動報告

11月17日（土）南町ひだまり公園に於いて、国分寺南栄商店会主催、第7回防災炊き出しが開催され、とん汁500食・非常食300食が地域の方にふるまわれました。

東経大ボランティアサークル Clover が参加し、準備設営や配布作業などを行いました。

また国分寺市イメージキャラクター「ホッチくん」に扮して、会場を盛り上げました。



◇ こくベジのじかんクリスマスマルシェ 2018 活動報告

2018年12月16日(日)、cocobunjiWEST 5Fにおいて、こくベジのじかんクリスマスマルシェ 2018 が開催されました。

こくベジのじかんクリスマスマルシェ2018は、名水百選の水が湧き出す国分寺にて300年前の新田開発の時代から培われてきた循環型農業でつくられた国分寺産の野菜「こくベジ」の販売と、旬のこくベジを使った料理を味わったり、クリスマス雑貨を作ったりとクリスマス前の温かな雰囲気を楽しめるイベントです。

経済学部尾崎寛直准教授が担当するエコキャンパスゼミは、「こくベジアート」の企画を行いました。参加者と一緒に折り紙や紙で作ったこくベジのオーナメントを紙細工のツリーに飾り、野菜ツリーを作製しました。

経営学部小木紀親ゼミ生は野菜のかぶりものを装着して会場を盛り上げ、こくベジ野菜販売などでも活躍しました。



◇ 学生の地域参加（ボランティア等）

	イベント・行事名	主 催	実施日	参加内容・参加者数等
1	「国分寺物語 ぶんぶん ぶらーり国分寺散歩」	小木ゼミ、 ニッポニアニッポン	4月～3月	小木ゼミ生参加 (ウェブ上の展開)
2	ごみ拾いボランティア	ボランティアサークル Clover	毎月 第2金 第4火	ボランティアサークル Clover 3グループに分かれて東経大 周辺のごみ拾い活動
3	cocobunji プラザ オープニングイベント	国分寺市	4/4	こくスマ! 実行委員会 ギタークラブ 落語研究会 小木ゼミ アカペラサークル
4	市民活動フェスティバル	こくぶんじ市民活動 センター	4/22	ボランティアサークル Clover 活動紹介と展示・装飾
5	キニョン東経大店 販売促進	鈴木特別ゼミ	4月～3月	鈴木特別ゼミ生 アンケートによるニーズ調査 新商品の開発協力
6	街づくりサポーター組織 グリーンプライド	ぶんじマルシェ北口 連合商店会	4月～3月	ボランティアサークル Clover 国分寺駅周辺清掃活動
7	国分寺お店大賞	国分寺市商工会 国分寺お店大賞実行 委員会	4月～11月	鈴木恒雄ゼミ生 イベント企画、運営、表彰式
8	姿見の池ボランティア	姿見の池 ホテルの タベ実行委員会	5月～	ボランティアサークル Clover 草刈り、池の環境整備手伝い イベントの案内、運営手伝い
9	ファーマーズフェスタ	JA 東京むさし	5/19・20	スイングジャズ研究会 管弦楽団 ギタークラブ 鈴木ゼミ生 演奏、野菜の販売など
10	障害者団体とのコラボ 販売実践活動	尾崎ゼミ	5/17、6/14 7/12、 10/11 11/8、 12/13	尾崎ゼミ生 葵陵会館前で販売活動

	イベント・行事名	主 催	実施日	参加内容・参加者数等
11	ぶんじふれあい市	国分寺市商工会、JA 東京むさし国分寺、 国分寺市観光協会	6/10	鈴木恒雄ゼミ お店大賞キャラバン隊
12	自転車安全キャンペーン ボランティア	小金井警察署	6/19	ボランティアサークル Clover 広報物ティッシュ配りなど
13	TAMATEHAKO (びより)	山本聡ゼミナール食 育班	7/6	山本聡ゼミ生食育班 地域食材を使ったジャム作り イベント開催
14	22 番街盆踊り	国分寺 22 番街商店会	7/21	鈴木恒雄ゼミ お店大賞キャラバン隊
15	ちびっこまつり	国分寺北口駅前商店 会	8/2	鈴木恒雄ゼミ お店大賞キャラバン隊
16	恋ヶ窪はあとふるまつり	恋ヶ窪商店会恋まち ストリート実行委員会	8/4	鈴木ゼミ生 模擬店手伝い、 設営、後片付け等
17	TAMATEHAKO (びより)	山本聡ゼミナール食 育班	8/7	山本聡ゼミ生食育班 地域野菜を使ったかき氷作り イベント開催
18	車いすテニス体験会	車いすテニスの会	8/13	尾崎ゼミ生 会場案内、設営など
19	シネマフェスティバル	国分寺南栄商店会	8/18	ボランティアサークル Clover 会場設営、イベント手伝い
20	Bunji Global&Forum Festa2018	国分寺青年会議所	9/8	鈴木ゼミ生、他有志学生 イベント支援、会場設営
21	CELEO 寄席	CELEO 国分寺	9/17 1/3	落語研究会 6 名 CELEO 国分寺特設ステージに おいて、敬老の日向けと新春 の寄席を披露
22	スポレクまつり	国分寺市	10/8	尾崎ゼミ
23	ひかりまつり	ひかりまつり実行委 員会	10/13	尾崎ゼミ
24	第 16 回はばたけ！サンサ ンゆめまつり	国分寺市障害者セン ター	10/21	尾崎ゼミ生 ボランティアサークル Clover 子どもコーナーの手伝い、 スイーツ販売等 管弦楽団

	イベント・行事名	主 催	実施日	参加内容・参加者数等
25	ぶんじハロウィン	ぶんじマルシェ実行委員会	10/28	ボランティアサークル Clover 「学生の地域貢献」履修学生イベント「みんなで作ろう！茶々ハロウィン」企画、運営
26	葵祭地域芸術展	葵祭実行委員会	11/2～ 11/4	①スタジオ T・H、(フラワーアレンジメント作品展示) ②ルシエル (アロマキャンドル作品展示および製作体験実施)
27	こくめしプロジェクト	鈴木恒雄特別ゼミ生	11/3～ 11/17	鈴木恒雄特別ゼミ生 特別メニューお茶漬け提案 販売促進
28	国分寺まつり	国分寺まつり実行委員会	11/4	ボランティアサークル Clover 鈴木恒雄ゼミ生、放送研究会 お店大賞授賞式 会場アナウンスなど
29	「国分寺東元町商店街まちづくりプラン」をテーマとした展示 (本多公民館)	青木亮ゼミ	11/9～ 11/12	青木亮ゼミ生
30	第 43 回国分寺市障害者(児)運動会・お楽しみ会	国分寺障害者団体連絡協議会	11/10	尾崎ゼミ生
31	第 7 回 防災炊き出し	国分寺市南栄商店会	11/17	ボランティアサークル Clover 非常食と豚汁の配布
32	国際交流フェスタ	国分寺市国際協会	11/18	グローバルキャリア生
33	TAMATEHAKO (びより)	山本聡ゼミナール 食育班	11/18	ホットケーキミックスと地域野菜を使ったおやつ作りイベント開催
34	ぶんぶんウォーク 2018	ぶんぶんウォーク 実行委員会	11/24～25	エコキャンパスゼミ生 東経汁の販売 小木ゼミ生 ボランティアサークル Clover
35	葵名人会(リオンホール)	落語研究会	12/1	落語研究会 17 名 (+春風亭柳橋師匠)

	イベント・行事名	主 催	実施日	参加内容・参加者数等
36	ぶんじコンシェルジュ	国分寺市	12/8.9	こくスマ!実行委員会 国分寺周辺情報のご案内
37	音楽ボランティア Paix2 トークショー	西下彰俊ゼミ	12/13	西下彰俊ゼミ生 音楽とボランティアに関する イベント開催
38	こくベジのじかん	国分寺市	12/16	尾崎ゼミ生、小木ゼミ生 会場案内、設営、イベント 手伝い
39	こらぼ de サロン	国分寺市民活動 センター	12/18	地域活動についてプレゼン 参加者とグループトーク 鈴木ゼミ生
40	国分寺の未来を考えるシ ンポジウム	国分寺市 社会福祉協議会	3/3	ボランティアサークル Clover
41	交通安全春のつどい	小金井警察署	3/16	スイングジャズ研究会(演奏) 劇団蜜蜂(交通安全小劇場)

V. 国分寺市の主な行事

イベント・行事	実施日	場 所
市民活動フェスティバル	4月	国分寺市市民活動センター
万葉花まつり	4月下旬	武蔵国分寺跡 他
社協ふくしのつどい	6月	国分寺市社会福祉協議会
本多公民館新緑まつり	5月	本多公民館
もとまちファミリー運動会	6月中旬	小学校体育館
こくベジのじかん	3月・12月	都立武蔵国分寺公園 cocobunji プラザ
Bunji Global Festa	7月	都立武蔵国分寺公園
はあとふるまつり	8月	恋ヶ窪商店会
ぶんじハロウィン	10月	国分寺北口商店会
スポレクまつり	10月中旬	市民スポーツセンターなど
国分寺まつり	11月第1日曜	武蔵国分寺公園ほか
ぶんぶんウォーク	11月頃	武蔵国分寺公園ほか
国分寺環境まつり	12月上旬	国分寺市清掃センター



東京経済大学 地域連携センター

東京都国分寺市南町 1-7-34

Tel: 042-328-7950

Fax: 042-328-7949

Mail: crc@s.tku.ac.jp